

第2次田村市総合計画後期基本計画策定に向けた

Tamura Future ワークショップ

実施報告書

令和8年3月

田 村 市

目次

| | | |
|----------|-------------------------|-----------|
| 1 | ワークショップの概要 | 2 |
| | (1) 実施概要 | 2 |
| | (2) 参加者..... | 2 |
| | (3) プログラム | 3 |
| 2 | 各回の実施内容 | 4 |
| | 第1回ワークショップ | 4 |
| | 第2回ワークショップ | 12 |
| | 第3回ワークショップ | 13 |
| | 第4回ワークショップ | 14 |
| 3 | 参加者アンケート結果 | 28 |

Ⅰ ワークショップの概要

テーマ：『ワクワク』と『チャレンジ』を考えるワークショップ

今回は、これまでの取組を踏まえ、令和9年度からの5年間に必要な取組とともに、市政施行20周年を迎えた「田村市」の20年後の未来へ残していきたいものを一緒に考えていただく場として開催しました。

(Ⅰ) 実施概要

| | |
|------|---|
| 実施目的 | 田村市に今後必要な取組の検討とこれまでの取組の評価、まちづくりへの関心の醸成 |
| 実施日程 | 第1回：令和7年11月29日（土）9：30～11：30 48名（市民等33名、職員15名） |
| 参加人数 | 第2回：令和7年12月21日（日）9：30～11：30 43名（市民等29名、職員14名） 第3回：令和8年1月31日（土）9：30～11：30 45名（市民等30名、職員15名） 第4回：令和8年2月28日（土）9：30～11：30 45名（市民等30名、職員15名） |
| 実施場所 | 第1・2回：田村市役所 多目的ホール、第3・4回：301会議室 |

※各回の参加者（市民等）の詳細

| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 第1回 | 9名 | 4名 | 1名 | 9名 | 1名 | 6名 | 3名 |
| 第2回 | 9名 | 5名 | 2名 | 6名 | 1名 | 3名 | 3名 |
| 第3回 | 7名 | 4名 | 2名 | 8名 | 1名 | 6名 | 2名 |
| 第4回 | 6名 | 4名 | 2名 | 8名 | 1名 | 6名 | 3名 |

(Ⅱ) 参加者

| 区分 | 人数 | 参加者の概要 |
|--------------|-----|--|
| ①団体・ネットワーク | 9名 | 各課から推薦のあった市民や現行計画策定時のワークショップ参加者 |
| ②中学生、高校生、大学生 | 14名 | 市内中学校：5名、船引高校：4名、大学：5名（内インターン生2名） |
| ③公募 | 26名 | 田村市内在住または通学・通勤している18歳以上の方（市民アンケート調査や市HP、広報紙にて募集） |
| ④市職員 | 16名 | 市若手職員 ※ワークショップでは各グループの検討内容の記録等を実施 |

(3) プログラム

| 回数 | テーマ | 実施内容 |
|--|---------------------------|--|
| グループ編成はランダム | | |
| 1 | みんなでつくり 「まちの通信簿」! | ①総合計画の概要説明 →総合計画とはどのような計画か、田村市の現状とめざす構想の共有 ②これまでの田村市の取組を評価 →各テーブルで、田村市の「良いところ」「もう少し頑張してほしいところ」を話し、それらをもとに通信簿の評価項目に記入。 |
| 第1回終了時に興味あるもしくは検討したい分野について希望を取り、グループ分け | | |
| 2 | 未来につながる アイデアを 考えよう! | ①これからの田村市に必要なもの →各テーブルで、田村市の評価の悪い所を改善するために何が必要か、評価の良い所は続けたり、より良くするために何が重要かを話し合う |
| 3 | | ②アイデアの深堀り →アイデアの中からいくつか絞り、そのアイデアを実現するために必要なものや誰ができそうかなどについて深堀り |
| 4 | みんなのアイデアを共有しよう! | ①発表会準備 →各グループで検討したアイデアを整理しながら、発表会に向けた準備を行う ②会場全体での発表会 →各グループで検討したアイデアを共有する |

■チラシ



※当日資料については、市ホームページに掲載

<https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/1/workshop.html>



2 各回の実施内容

第1回ワークショップ（11/29、計48名参加）

テーマ みんなでつくろう「まちの通信簿」！

①オリエンテーション

総合計画やワークショップの目的などを説明しました。その後、人口等の状況についてクイズを交えながら説明し、田村市の現状について理解を深めていきました。



②グループワーク

参加者の皆さんが4～5人（+市職員）のグループに分かれ、田村市の「良いところ」「もう少し頑張してほしいところ」について、通信簿形式で評価しました。



③発表会

各グループで話し合った内容を、会場全体で共有しました。参加者からは、「わくわくするようなインパクトのあるモノを考えていく必要がある」、「世代を超えて交流する場や市について知ってもらえる機会が必要」などの意見がありました。



④検討結果

Aグループ

自然や一次産業の活気、子育て支援を高く評価する一方、船引への資源の集中や娯楽・交通の不便さ、発信力の低さが課題として挙げられ、若者が住みやすいまちにするため、地域格差の解消や伸ばせる魅力の活用が求められています。

| | 大変よい | よい | がんばりましょう |
|------------------|---|---|---|
| まちのようす 生活のようす | <ul style="list-style-type: none"> ・自然が多く・景観がきれい ・子育て支援が充実! ・ゴミが少なく治安が良い | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が元気・温かい ・観光資源が多く、祭りに活気がある ・一次産業が元気!!市長も! | <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路、駅がある ・何でも船引に集中しすぎ... ・娯楽が少ない(あそべる所ほしい!) ・交通の利便性がない(電車もバスも少ない) ・大学・専門学校がない、生徒が少ない ・24時間体制の病院がない(不安) ・家賃が高い!!(学生にはつらい) ・発信力が低い |
| 住民所感 | <p>田村市は、自然・観光資源が多く、一次産業が元気で。また、治安がとても良く子育て支援が充実しているところも魅力です。しかし、交通の利便性やお店には地域間の格差が見られるところもあり、もう少し頑張りたいです。また、若者が住みやすい町になれるよう、伸ばせるところがたくさんあります。</p> | | |

模造紙

まちの通信簿

| まちのようす 生活のようす | 大変よい | よい | がんばりましょう |
|-----------------------|------|----|----------|
| ・地域の人が元気温かい | ○ | | |
| ・自然が多く・景観がきれい | ◎ | | |
| ・観光資源が多く・祭りに活気がある | ◎ | | |
| ・子育て支援が充実! | ◎ | | |
| ・ゴミが少なく治安が良い | ◎ | | |
| ・高速道路 駅がある | | ○ | △ |
| ・一次産業が元気!!市長も! | | ○ | △ |
| ・何でも船引に集中しすぎ... | | | △ |
| ・娯楽が少ない(あそべる所ほしい!) | | | △ |
| ・交通の利便性がない(電車もバスも少ない) | | | △ |
| ・大学・専門学校がない、生徒が少ない | | | △ |
| ・24時間体制の病院がない(不安) | | | △ |
| ・家賃が高い!!(学生にはつらい) | | | △ |
| ・発信力が低い | | | △ |

田村市のここが「よい!」ここが「もう少し!」

住民所感

田村市は、自然・観光資源が多く、一次産業が元気で。また、治安がとても良く子育て支援が充実しているところも魅力です。しかし、交通の利便性やお店には地域間の格差が見られるところもあり、もう少し頑張りたいです。また、若者が住みやすい町になれるよう、伸ばせるところがたくさんあります。

Cグループ

観光名所やお年寄りの元気を評価している一方で、娯楽施設の少なさや治安の悪化を招く空き家や廃校の利活用、時代に合わない学校ルールの変更、働く場所の選択肢不足が課題として挙げられています。

| | 大変よい | よい | がんばりましょう |
|------------------|--|---|---|
| まちのようす 生活のようす | <ul style="list-style-type: none"> 大滝根川沿いの桜並木が美しい 県を代表する観光名所がある(あぶくま洞・ムシムシランド等) 他の地域に比べて安全 お年寄りが元気 ラーメン店が多い、おいしい 交通のアクセスが良い | <ul style="list-style-type: none"> 災害時の助け合いの気持ちが強い | <ul style="list-style-type: none"> スポーツイベントがあるといい 娯楽施設が少ない、規模が小さい 空き家・空き地・廃校の利活用 ごみ集積所の不整備 制服が選べない 学校に置き勉強ができない 交流の場が少ない、機会がない 働く場所、選択肢が少ない |
| 住民所感 | <ul style="list-style-type: none"> 桜の季節が大滝根川の桜がきれい！ あぶくま洞やムシムシランドなどには伸びしろがある 個性豊かなラーメン屋があり、魅力的である 空き家や空き地の利活用が課題(治安が悪くなる) 学校には古いルールが残っている。良い所は残して、時代に合わせて改定して行きたい | | |

模造紙

グループ

まちの通信簿

| まちのようす 生活のようす | 大変よい | よい | がんばりましょう |
|-----------------------------------|------|----|----------|
| 評価の観点 | | | |
| 大滝根川沿いの桜並木が美しい | ○ | | |
| 県を代表する観光名所がある (あぶくま洞・ムシムシランド等) | ○ | | |
| 災害時の助け合いの気持ちが強い | | ○ | |
| 他の地域に比べて安全 | ○ | | |
| お年寄りが元気 | ○ | | |
| ラーメン店が多い、おいしい | ○ | | |
| 交通のアクセスが良い | ○ | | |
| スポーツイベントがあるといい | | | ○ |
| 娯楽施設が少ない、規模が小さい | | | ○ |
| 空き家・空き地・廃校の利活用 | | | ○ |
| ごみ集積所の不整備 | | | ○ |
| 制服が選べない | | | ○ |
| 学校に置き勉強ができない | | | ○ |
| 交流の場が少ない、機会がない | | | ○ |
| 働く場所、選択肢が少ない | | | ○ |

田村市のここが「よい!」ここが「もう少し!」

住民所感

- 桜の季節が大滝根川の桜がきれい!
- あぶくま洞やムシムシランドなどには伸びしろがある ○
- 個性豊かなラーメン屋があり魅力的である ○
- 空き家や空き地の利活用が課題(治安が悪くなる)
- 学校には古いルールが残っている。良い所は残して時代に合わせて改定して行きたい。

Dグループ

災害の少なさや遊び場を評価とする一方、カフェなど中高生が放課後に集まれる「おしゃれな場所」などの不足や古い公共施設、電車の本数の少なさが課題として挙げられ、インパクトのあるワクワクする仕掛けが求められています。

| | 大変よい | よい | がんばりましょう |
|------------------|--|----|--|
| まちのようす 生活のようす | <ul style="list-style-type: none"> ・災害が少ない ・自然が多い（キャンプ場・森業が盛ん） ・子育て環境が整っている ・安心して空気が吸える ・道路のアクセス ・チャレンジしている人が多い ・乳幼児の遊び場が多い | - | <ul style="list-style-type: none"> ・おしゃれ盛がない ・若者が集まる場所がない（カフェ） ・小中高生の居場所がない（カラオケ・マック） ・公共施設が古い ・電車の本数が少ない |
| 住民所感 | <p>・田村市には、面白い場所が多くありますが、若者が集まる場所がありません。もっとワクワクするようなインパクトのあるモノを考えていく必要があるでしょう。</p> | | |

模造紙

まちの通信簿

| まちのようす 生活のようす | 評価の観点 | 大変よい | よい | がんばりましょう |
|--|-------|-------|----|-----------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・災害が少ない ・自然が多い <small>キャンプ場 森業が盛ん</small> ・子育て環境が整っている ・安心して空気が吸える ・道路のアクセス ・チャレンジしている人が多い ・乳幼児の遊び場が多い | | 🌸🌸🌸🌸🌸 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・おしゃれ盛がない ・若者が集まる場所がない <small>カフェ</small> ・小中高生の居場所がない <small>カラオケ マック</small> ・公共施設が古い ・電車の本数が少ない | | | | △ △ △ △ △ |

田村市のここが「よい!」ここが「もう少し!」

住民所感

田村市には、面白い場所が多くありますが、若者が集まる場所がありません。もっとワクワクするようなインパクトのあるモノを考えていく必要があるでしょう。

Eグループ

自然や人の温かさ、地域と学校の連携を評価している一方で、交通の利便性や駅前の店舗不足、夜間の暗さが課題として挙げられ、豊富な資源に気づいていない現状を改善し、若者が主役になれる将来展望の確立が求められています。

| | 大変よい | よい | がんばりましょう |
|------------------|---|--|--|
| まちのようす 生活のようす | - | <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・自然災害にも強い ・気づいていない地域資源がたくさんある ・人のつながりが強く温かい ・地域と学校が連携している | <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い ・船引駅前に店がほしい ・田村市の広い地域を活かして、もっと遊ぶ場所を増やしてほしい ・夜間外灯が少なく、暗い場所が多く感じる。 |
| 住民所感 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かで資源も豊富だが、それに気づいていない現状を改善したい。地域資源の有効活用と住民主体による将来展望を確立したい。 ・若い方がワクワクドキドキするようなしかけをつくりたい。 | | |

模造紙

E まちの通信簿

| まちのようす 生活のようす | 大変よい | よい | がんばりましょう |
|--|------|----|----------|
| <p>良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・自然災害にも強い ・気づいていない地域資源がたくさんある ・人のつながりが強く温かい ・地域と学校が連携している <p>悪い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い ・船引駅前に店がほしい ・田村市の広い地域を活かして、もっと遊ぶ場所を増やしてほしい ・夜間外灯が少なく、暗い場所が多く感じる | | | |

田村市のここが「よい!」ここが「もう少し!」

住民所感

自然豊かで資源も豊富だが、それに気づいていない現状を改善したい。地域資源の有効活用と住民主体による将来展望を確立したい。

若い方がワクワクドキドキするようなしかけをつくりたい。

Fグループ

SNSでの発信力を評価する一方、運動施設や歩道の整備、子どもの交通手段、使われなくなった建物の活用を課題として挙げられ、子どもがのびのびと暮らし、地域に参加できる環境づくりが求められています。

| | 大変よい | よい | がんばりましょう |
|------------------|--|--------------|--|
| まちのようす 生活のようす | - | ・たむら市民病院への期待 | <ul style="list-style-type: none"> ・気軽にスポーツができる施設がない。 ・使われなくなった建物の活用。 ・子どもたちの交通手段。 ・子どもが集まれる場所がない。 ・歩道がない。 ・魅力や利便性を求めて市外に行ってしまう。 ・子ども達の地域参加。 ・学習へ取り組み。 |
| 住民所感 | <ul style="list-style-type: none"> ・PR力を感じる（YouTube、SNSなど） ・子ども達がのびのびと暮らせるまちを作ってほしい ・病院での受診は1カ所ですむように期待している | | |

模造紙

< Fチーム >
まちの通信簿

| まちのようす 生活のようす | 評価の観点 | 大変よい | よい | がんばりましょう |
|---------------------------|-------|------|----|----------|
| ・気軽にスポーツができる施設がない。 | | | | ○ |
| ・使われなくなった建物の活用。 | | | | ○ |
| ・子どもたちの交通手段。 | | | | ○ |
| ・子どもが集まれる場所がない。 | | | | ○ |
| ・歩道がない。 | | | | ○ |
| ・魅力や利便性を求めて市外に行ってしまう。 | | | | ○ |
| ・子ども達の地域参加。 | | | | ○ |
| ・たむら市民病院への期待 学習への取り組み。 | | | ○ | ○ |

田村市のここが「よい!」ここが「もう少し!」

住民所感

- ・PR力を感じる (Youtube, SNSなど)
- ・子ども達がのびのびと暮らせるまちを作ってほしい。
- ・病院での受診は1カ所ですむように期待している。

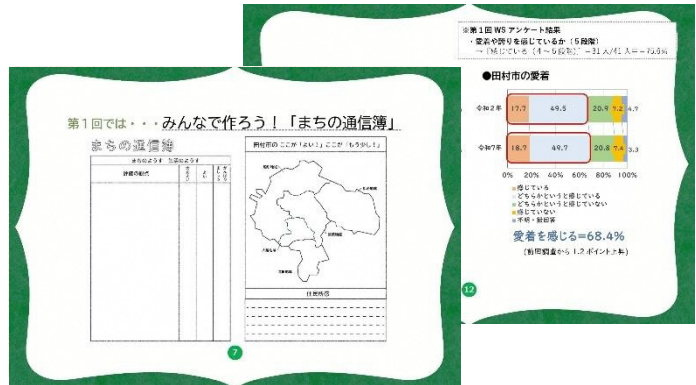
第2回ワークショップ（12/21、計43名参加）

テーマ 未来につながるアイデアを考えよう！

①オリエンテーション

前回の振り返りとして総合計画やワークショップの目的について説明しました。

その後、次期計画の策定に向けて10月に実施した市民アンケート調査の結果について、一部抜粋しながら報告しました。



②グループワーク

事前にアンケートを行い、参加者それぞれが興味のある分野について、基本目標ごとにグループ分けを行いました。

グループごとに、第2回と第3回を使って、第1回での「まちの通信簿」なども参考にしながら、未来につながる具体的なアイデアを考えていきました。

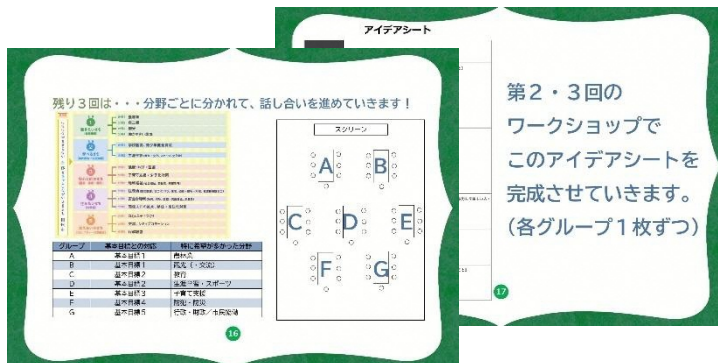


第3回ワークショップ（1/31、計45名参加）

テーマ 未来につながるアイデアを考えよう！

①オリエンテーション

これまでの振り返りとして総合計画やワークショップの目的、これまでの検討の経過について説明しました。



②グループワーク

事前にアンケートを行い、参加者それぞれが興味のある分野について、基本目標ごとにグループ分けを行いました。

グループごとに、第2回と第3回を使って、第1回での「まちの通信簿」なども参考にしながら、未来につながる具体的なアイデアを考えていきました。



第4回ワークショップ（2/28、計45名参加）

テーマ みんなのアイデアを共有しよう！

①オリエンテーション

これまでの振り返りとして総合計画やワークショップの開催目的、第1回～第3回までのワークショップの検討経過について説明しました。



②発表準備

第1回での検討内容も参考にしながら、未来につながる具体的なアイデアについて考えるとともに、発表会に向けた準備を行いました。

③発表会

白石市長や渡邊副市長、箭内教育長を前に、グループごとに、第2回～第4回にかけて、話し合った内容について、発表を行いました。



※グループの担当分野

| グループ | 基本目標との対応 | 特に希望が多かった分野 |
|------|----------|-------------|
| A | 基本目標1 | 農林業 |
| B | 基本目標1 | 観光（・交流） |
| C | 基本目標2 | 教育 |
| D | 基本目標2 | 生涯学習・スポーツ |
| E | 基本目標3 | 子育て支援 |
| F | 基本目標4 | 防犯・防災 |
| G | 基本目標5 | 行政・財政／市民協働 |

④検討結果（第2～3回での検討内容含む）

Aグループ【基本目標Ⅰ 働きたいまち（産業振興）】

| | |
|-----------------------|---|
| 取組名 | いなかで豊かを育む農林業ワクワクチャレンジプロジェクト |
| どんな課題の解決に取り組むか | <ul style="list-style-type: none"> ・後継者不足 ・魅力、発信力 ・特産物 →田畑、山林荒れている |
| 具体的にどんなことに取り組むか | <ul style="list-style-type: none"> ・体験（子ども、新規就農）、農業の短期バイト ・補助金のアップ、拡充 ・特産品魅力発信の強化 ・移住者に家と農地の提供 |
| どんな人達の協力が必要か | <ul style="list-style-type: none"> ・議会 ・学校 ・農業者 ・JA ・林業者 ・インフルエンサー ・Youtuber |
| ワクワク・チャレンジポイント | <ul style="list-style-type: none"> ・分野、業種、世代を超えて大きな目標をもって取り組む ・農林業の楽しさを知ってもらう |
| 取り組むことによってどんな効果が得られるか | <ul style="list-style-type: none"> ・収入アップ ・人口増 ・後継者不足解消 ・田村市のPR ・交流の場 |



「いなかで豊かを育む農林業ワクワクチャレンジプロジェクト」を掲げ、後継者不足や発信力不足といった課題に対し、「農業短期バイト」や「農地と空き家を合わせた無償提供」、「インフルエンサーによるPR」など、世代を超えて農林業の楽しさを共有し、収入と人口の増加、後継者不足の解消を目指す施策の提案がありました。



A

アイデアシート

| 取組名 | いながで豊かを音む 農林業ワクワクチャレンジプロジェクト |
|-----------------------|--|
| どんな課題の解決に取り組むか | 【市の課題・状況、皆さんの目線で困っていること、解決したいこと】 ・後継者不足 ・魅力発信力 ⇒ 田畑 山林 ・特産物 ⇒ 荒れている |
| 具体的にどんなことに取り組むか | 令和13年度のゴール： ・体験(子ども新規就農)、農業の短期バイト ・補助金のアップ・拡充 ・特産品魅力発信の強化 ・移住者に家と農地の提供 |
| どんな人達の協力が必要か | 【市役所の支援のほか、主体的にかかわってもらいたい人・団体や協力してほしい人・団体など】 議会、学校、農業者、JA、林業者、 インフルエンサー、YouTuber |
| ワクワク・チャレンジポイント | 【どんな点が新しいチャレンジやまちのワクワクにつながるか。】 分野業種・世代を超えて大きな目標を もって取り組む 農林業の楽しさを知ってもらう |
| 取り組むことによってどんな効果が得られるか | 【このアイデアに取り組むことによる効果、田村市にもたらされること】 ・収入アップ ・人口増 ・後継者不足解消 ・田村市のPR ・交流の場 |

Bグループ【基本目標1 働きたいまち（産業振興）】

| | |
|-----------------------|---|
| 取組名 | SNSで地元を知ろう！ |
| どんな課題の解決に取り組むか | <ul style="list-style-type: none"> ・発信力が弱い ・観光地同士のキョリが遠い ・市民が地元を知らない ・つながり薄さ（震災やコロナによるつながりの断絶） ・世代間交流の不足 ・駅が寂しい ・強いコンテンツを1つつくる（強化） |
| 具体的にどんなことに取り組むか | <ul style="list-style-type: none"> ・若い人への発信方法、SNS、HPの更新『今日のイベント』など ・人が集中しやすい場所でイベント ・世代間の交流の場の創出 ・宿泊施設の予約にデジタル、HP導入、キャッシュレス（市から補助） ・パッケージツアー（季節に合わせた） ・スタンプラリー（御朱印、パズル） |
| どんな人達の協力が必要か | <ul style="list-style-type: none"> ・市役所の支援 ・一社 Switch（情報発信） ・旅行者（ツアー構成） ・地元の特産を活かした事業者 ・地元の中高生「食の探求」 ・保存会（都路、船引、大越、常葉、滝根） |
| ワクワク・チャレンジポイント | <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口が拡大される ・住民の自身が出る ・経済の活性化＝地域の活性化 ・市民自身誇れるものに気づく（地元に残りたいと思える） |
| 取り組むことによってどんな効果が得られるか | <ul style="list-style-type: none"> ・市内外の人に興味を持ってもらえる ・田村市の良さが再発見される |



行政の発信力の弱さや市民の地元への関心の薄さを解決するため、中高生が活用するInstagramでの情報発信強化や宿泊予約のデジタル化を進め、あぶくま洞などの拠点を巡るスタンプラリーや季節のツアーを通じて、市民が地元の魅力に気づき誇りを持てる環境づくりに関する提案がありました。



Bグループ

アイデアシート

| 取組名 | SNSで地元を知らそう！ | |
|-----------------------|---|--|
| どんな課題の解決に取り組むか | <p>【市の課題・状況、皆さんの目線で困っていること、解決したいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発信力が弱い。 ○観光地同士のキャリが重い ○市民が地元を知らない。 ○つながりの薄さ(震災やコロナによるつながりの断絶) 世代間交流の不足 ○駅が寂しい。 ○強いコンテンツを1つ作る(強化)。 | |
| 具体的にどんなことに取り組むか | <p>令和13年度のゴール：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若い人への発信方法 SNS・HPの更新 ^{ホームページ} 『今日のイベント』など ○人が集中しやすい場所でのイベント ○世代間の交流の場創出 ○例えば宿泊施設の予約にデジタル、HP導入、キャッシュレス(→市から補助) ○パッケージツアー(季節に合わせて) ○スタンプラリー(御朱印・パズル) | |
| どんな人達の協力が必要か | <p>【市役所の支援のほか、主体的にかかわってもらいたい人・団体や協力してほしい人・団体など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所の支援 ・地元の特産を扱う事業者 ・一社 Switch (情報) ・旅行業者(ツアー構成) ・地元の中高生 ・保存会(都路、船引、大森、菅原、滝根) ・「食の探究」 | |
| ワクワク・チャレンジポイント | <p>【どんな点が新しいチャレンジやまちのワクワクにつながるか。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交流人口が拡大される。 ○市民自身誇れるものに気づく(地元に残りたいと思える) ○住民の自信が出る ○経済の活性化 = 地域の活性化 | |
| 取り組むことによってどんな効果が見られるか | <p>【このアイデアに取り組むことによる効果、田村市にもたらされること】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内外の人に興味を持ち、来る。 田村市の良さが再発見される。 | |

Cグループ【基本目標2 学べるまち（学校教育・生涯学習）】

| | |
|-----------------------|--|
| 取組名 | みんなが先生プロジェクト～田村市から広がる学びの輪～ |
| どんな課題の解決に取り組むか | <ul style="list-style-type: none"> ・学校や保護者が抱える困りごとや、人が必要な分野が十分に把握・共有されていない。 ・学校や地域で「やりたいことができない。」状況が生まれ、子どもたちが新たな可能性や夢に挑戦しにくい。 |
| 具体的にどんなことに取り組むか | <ul style="list-style-type: none"> ・学校、保護者へのヒアリング ・県内企業やスポーツチームとの連携 ・田村市の文化に触れる機会の創設 ・学習成果を発表する機会を設ける |
| どんな人達の協力が必要か | <ul style="list-style-type: none"> ・子供や若者と関わる事ができる地域住民 ・大学生等のボランティア ・社会経験、専門知識を持つ人 |
| ワクワク・チャレンジポイント | <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが先生！オールティーチャータムラ |
| 取り組むことによってどんな効果が得られるか | <ul style="list-style-type: none"> ☆世代間交流、地域間交流がうまれる ☆1人1人と学びの輪が広がる！ →地域文化やスポーツ等新しい学び →「人に教えたい」という意欲がでる |



「みんなが先生プロジェクト」として、学校の閉塞感や少子化による集団活動の困難を打破するため、プロスポーツチームとの連携や、市民一人ひとりが講師となる「オールティーチャー・タムラ」を推進し、教え合いを通じて世代間・地域間の交流と学びの好循環を生み出す仕組みの提案がありました。



C

アイデアシート

| | |
|-----------------------|--|
| 取組名 | みんなが先生プロジェクト ～田村市から広がる学びの和～ |
| どんな課題の解決に取り組むか | 【市の課題・状況、皆さんの目線で困っていること、解決したいこと】 ・ 学校や保護者が抱える困りごとや、人手が必要な分野が十分に把握・共有されていない。 ・ 学校や地域で「やりたいことができない。」状況が生まれ、子どもたちが新たな可能性や夢に挑戦しにくい。 |
| 具体的にどんなことに取り組むか | 令和 13 年度のゴール： ・ 学校・保護者へのヒアリング ・ 県内企業やスポーツチームとの連携 ・ 田村市の文化に触れる機会の創設 ・ 学習成果を発表する機会を設ける |
| どんな人達の協力が必要か | 【市役所の支援のほか、主体的にかかわってもらいたい人・団体や協力してほしい人・団体など】 子供や若者と関わる事ができる地域住民 大学生等のボランティア 社会経験、専門的知識を持つ人 |
| ワクワク・チャレンジポイント | 【どんな点が新しいチャレンジやまちのワクワクにつながるか。】 みんなが先生！ <u>オールティチャータムラ</u> |
| 取り組むことによってどんな効果を得られるか | 【このアイデアに取り組むことによる効果、田村市にもたらされること】 ☆ <u>世代間交流</u> ・ <u>地域間交流</u> がうまれる → 地域文化やスポーツ等新しい学び → 「人に教えたい」という意欲がでる ☆ 1人、1人と学びの和が広がる！ |

Dグループ【基本目標2 学べるまち（学校教育・生涯学習）】

| | |
|-----------------------|--|
| 取組名 | 誰もが楽しめる・なんでもチャレンジできる施設づくり |
| どんな課題の解決に取り組むか | △生涯学習に取り組むハードルが高い →原因の1つに手軽に利用できる施設、生涯学習を象徴する施設が少ないこと →誰でもきっかけがつけられる施設がほしい！ |
| 具体的にどんなことに取り組むか | ・生涯学習の拠点となる場所をつくる！ ・空き家と廃校を活用した施設づくり →お仕事体験、民泊、ポップアップストア ・個展、DIY ワークショップ ・拠点があることを知ってもらう |
| どんな人達の協力が必要か | ・地域住民、保護者、PTA ・”何かをやりたい人” ・地域の企業 |
| ワクワク・チャレンジポイント | ・今までにない、空き家、廃校の活用ができる ・地域にもとからある施設を利用することで、郷土愛が生まれ、人口流出が止まるかも!? ・お金の負担軽減が見込める |
| 取り組むことによってどんな効果が得られるか | ・人口減少が止められるかも! ・伝承の場ができる ・企業の雇用につながる ・地域の色々な場所で学習ができる!! →地域の人たちの”楽しい”につながる |



生涯学習のハードルを下げるために廃校や空き家を多目的施設として活用し、人生100年時代を見据えて大人の技術（大工仕事など）を子どもたちに伝承する場を設け、多世代が生きがいを持って活動し、郷土愛を育むことで人口流出を抑制する取り組みの提案がありました。



Dグループ

アイデアシート

| | |
|------------------------------|---|
| <p>取組名</p> | <p><u>誰もが楽しめる・何でもチャレンジできる施設づくり</u></p> |
| <p>どんな課題の解決に取り組むか</p> | <p>【市の課題・状況、皆さんの目線で困っていること、解決したいこと】 <u>△生涯学習に取り組むハードルが高い</u> ↓原因の1つに <u>手軽に利用できる施設</u> 生涯学習を象徴する施設が少ないこと。 ↓ <u>誰でもきかけがつけれる施設がほしい!</u></p> |
| <p>具体的にどんなことに取り組むか</p> | <p>令和13年度のゴール: <u>生涯学習の拠点となる場所をつくる!</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ <u>空き家と廃校を活用した施設づくり</u> ↳ <u>お仕事体験・民泊・ポップアップストア</u> ・ <u>個展・DIYワークショップ</u> ◦ <u>拠点があることを知ってもらう</u> |
| <p>どんな人達の協力が必要か</p> | <p>【市役所の支援のほか、主体的にかかわってもらいたい人・団体や協力してほしい人・団体など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地域住民・保護者・PTA</u> ・ <u>"何かをやりたい人"・地域の企業</u> |
| <p>ワクワク・チャレンジポイント</p> | <p>【どんな点が新しいチャレンジやまちのワクワクにつながるか。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>今までにない、空き家・廃校の活用ができる</u> ・ <u>地域にもとからある施設を利用することで、<u>郷土愛が生まれ、人口流出が止まるかも!</u></u> ・ <u>お金の負担軽減が見込める</u> |
| <p>取り組むことによってどんな効果が得られるか</p> | <p>【このアイデアに取り組むことによる効果、田村市にもたらされること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>人口減少が止められるかも!?</u> ・ <u>伝承の場ができる</u> ・ <u>企業の雇用につながる</u> ↳ <u>地域の人たちの"楽しい"につながる</u> ◦ <u>地域の色んな場所での学習ができる!!</u> |

Eグループ【基本目標3 安心と絆のまち（健康・医療・福祉）】

| | |
|---------------------------|---|
| 取組名 | 子育て支援・少子化対策 |
| どんな課題の解決に取り組むか | ①子育て支援、少子化対策は充実しているが子育て世代に届いていない。情報発信不足 ②子どもたちが楽しめるお店（商業施設）が少ない ③SNS との付き合い方 ④出会いの場が少ない ⑤地域愛が少ない |
| 具体的にどんなことに取り組むか | ①それぞれの子どもに合わせた専用アプリの導入、高校生に SNS の発信を協力してもらう、不妊治療に対する助成 ②中高生が集まることができるところをつくる、空き家の利用はどうか ③学校や家庭で意識づけを継続して行う ④「婚活」というワードがプレッシャーになる”三十路のつどい”イベント ⑤参観日に WS を行って地域について考える、学校のスケジュールの1つとして、地域企業の紹介の場をいれてもらう |
| どんな人達の協力が 必要か | ・子育て世代 ・船引高校生（SNS 発信） ・地域おこし協力隊 |
| ワクワク・チャレンジ ポイント | ・結婚適齢期の方に交流の場を提供することができる！ ☆空き家を自分たちで少しずつ改修してつくりあげる！ →地域の子どもたちが関わっていくことで、ワクワクが継続していく |
| 取り組むことによって どんな効果が得られるか | ・田村市に住んでいる方たちの定住につながる ・集まりが派生してまちの活性化につながる |



子育て世代への情報発信不足を課題とし、専用アプリの導入や高校生による SNS 発信、さらに空き家を中高生自らが改修してつく居場所など、当事者が主体となって情報を取得・発信し、ワクワクが継続するコミュニティと定住の促進の提案がありました。



<Eチーム>

アイデアシート

| 取組名 | 子育て支援・少子化対策 |
|-----------------------|--|
| どんな課題の解決に取り組むか | <p>【市の課題・状況、皆さんの目線で困っていること、解決したいこと】</p> <p>①子育て支援・少子化対策は充実しているが子育て世代に届いていない。情報発信不足。</p> <p>②子どもたちが楽しめるお店(商業施設)が少ない。</p> <p>③SNSとの付き合い方。</p> <p>④出会うの場が少ない。</p> <p>⑤地域愛が少ない。</p> |
| 具体的にどんなことに取り組むか | <p>令和13年度のゴール：</p> <p>①それぞれの子どもに合わせた専用アプリの導入。高校生にSNSの発信と協力してもらう。不妊治療に対する助成。</p> <p>②中高生が集まることができる場所をつくる。空き家の利用(改装)。</p> <p>③学校や家庭で意識づけを継続して行う。</p> <p>④「婚活」というワードがプレジャーになる。三丁路のフコイ、イベント。</p> <p>⑤参観日にWSを行って地域について考える。学校のスケジュールの1つとして、地域企業の紹介の場を入れてもらう。</p> |
| どんな人達の協力が必要か | <p>【市役所の支援のほか、主体的にかかわってもらいたい人・団体や協力してほしい人・団体など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代 ・舟引高校生(SNS発信) ・地域おこし協力隊 |
| ワクワク・チャレンジポイント | <p>【どんな点が新しいチャレンジやまちのワクワクにつながるか。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未婚適齢期の方に交流の場を提供することができる! ・空き家を自分たちで少しずつ改修してつくりあげる! ↳ 地域の子どもたちが関わっていくことで、<u>ワクワクが継続していく。</u> |
| 取り組むことによってどんな効果が得られるか | <p>【このアイデアに取り組むことによる効果、田村市にもたらされること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田村市に住んでいる方たちの定住につながる。 ・集まりが派生してまちの活性化につながる。 |

Fグループ【基本目標4 住みたいまち（住環境）】

| | |
|-----------------------|--|
| 取組名 | 空き家はボーナス（負の遺産ではなく宝物） |
| どんな課題の解決に取り組むか | <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の利活用をする事（未使用の土地や空き地の活用） →防犯、防災につながる →住環境の改善向上 →移住定住促進に役立つ（まちの暗闇を少なくする防犯灯） |
| 具体的にどんなことに取り組むか | <p>防犯・防災に強靱な町にする</p> <p>【現状把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクや市のデータを活用する知見人の発掘 ・移住者（移住前後を含む）のアンケート（町の評価と発見）（魅力の再発見） <p>【実施に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象地の安全調査 ・対象建物の安全調査と改修提案（ランク付け） ・空き家の事例の収集と発信（田村エリア） ・DIYの勉強会（防災の原因にしない） |
| どんな人達の協力が必要か | <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の持ち主、空き地の地主（売却、賃貸、提供） ・専門家の協力…DIYに興味ある人（知識の共有）（専門業者の機材含めた協力） |
| ワクワク・チャレンジポイント | <ul style="list-style-type: none"> ・おうち交換しませんか？（貸し家基本に住み変える） ・シェアハウス利用に依る多数家族の交流と共生 ・解体対象の家での勉強体験と廃材の利活用（ゴミ、廃材の削減） |
| 取り組むことによってどんな効果が得られるか | <ul style="list-style-type: none"> ・安信（心）、安全な町となり移住者増加が見込まれる、新たな交流が発生し地域活性化がすすむ （他人に耳をかたむけ信頼感を育む環境の町が防犯抑止に結び付く） |



空き家を負債ではなく宝物と捉える「空き家はボーナス」という考えのもと、DIY勉強会や利便性を求める高齢者と広い家を必要とする子育て世代が住宅を入れ替える「お家交換」など、官民連携で空き家を再生し、安心・安全でにぎやかなまちを作るアイデアの提案がありました。



アイデアシート

取組名

空き家はボーナス (負の遺産ではなく宝物)

どんな課題の解決
に取り組むか

【市の課題・状況、皆さんの目線で困っていること、解決したいこと】

空き家の利活用をすすめる
(未使用建築や空き地の活用)
→ 防犯・防災につながる。
→ 住環境の改善向上
→ 移住・定住促進に役立つ



(町の暗闇を少くする防犯灯)

具体的に
どんなことに
取り組むか

令和13年度のゴール: 防犯・防災に強靱な町にする
現状把握/空き家バンクや市のデータを活用する知見の
発信
■ 空き家・空き地の情報整理(詳細化)
■ 移住者(移住前後を含む)のアンケート 魅力の再発見
実施に向けて/対象地の安全調査 (町の評価と発信)
■ 対象建物の安全調査と改修提案(ランク付)
■ 空き家の実例の収集と発信(田村エリア)
■ DIYの勉強会 (防災の原因にしたい)

どんな人達の協力
が必要か

【市役所の支援のほか、主体的にかかわってもらいたい人・団体や協力してほしい人・
団体など】
■ 空き家の持主、空き地の地主 (売却・賃貸・提供)
■ 専門家の協力... DIYに興味ある人(知識の共有)
(専門業者の機材含めた協力)
(ゴミ・廃材の削減)

ワクワク・
チャレンジポイント

【どんな点が新しいチャレンジやまちのワクワクにつながるか】

おうち交換しませんか? (賃貸家基本に住み変える)
■シェアハウス利用に依る多数家族の交流と共生
■解体対象の家での勉強体験と廃材の利活用

取り組むこと
によってどんな効果
が得られるか

【このアイデアに取り組むことによる効果、田村市にもたらされること】

安心・安全な町となり移住者増加が見込まれる
(心) 新たな交流が生まれ地域活性化がすすむ。

(他人に耳をかたむけ信頼感を育む環境の町が
防犯抑止に結びつく)

Gグループ【基本目標5 支えあいのまち（コミュニティ・行政経営）】

| | |
|-----------------------|--|
| 取組名 | チャレンジしやすいコミュニティづくり |
| どんな課題の解決に取り組むか | <ul style="list-style-type: none"> ・地域への関心がうすれてきており、時代にあったコミュニティになっていない。そのため、若い人が意見を出しにくく、チャレンジしにくいコミュニティ環境となっている。 |
| 具体的にどんなことに取り組むか | <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが気軽に挑戦でき、小さな一歩が日常的に生まれるコミュニティが地域内に定着している状態を目指す ・挑戦事例や地域の声を見える化し、日常的に共有する仕組みづくり ・気軽に相談できる場と伴走支援体制の整備 ・世代や立場を越えた交流、共同の機会創出 |
| どんな人達の協力が必要か | <ul style="list-style-type: none"> ・挑戦の主体となる人 ・制度、環境を整える人 ・伴走、支援する人 ・外部から応援、関わる人 |
| ワクワク・チャレンジポイント | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の声やチャレンジの見える化 →小さな挑戦 →挑戦の実績 →新たな挑戦 |
| 取り組むことによってどんな効果が得られるか | <ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりが強くなる ・挑戦する人が増える ・定住、移住につながる ・地域のイメージが向上する |



若者が挑戦しにくい環境を改善するため、SNSでの事例共有や「失敗を賞賛する文化」の醸成を掲げ、片付けなどの「小さな挑戦」を日常的に積み上げることで、人任せではなく市民自らが主体となってワクワクを連鎖するコミュニティを形成する提案がありました。



アイデアシート

| | |
|------------------------------|---|
| <p>取組名</p> | <p>チャレンジしやすいコミュニティづくり</p> |
| <p>どんな課題の解決に取り組むか</p> | <p>【市の課題・状況、皆さんの目線で困っていること、解決したいこと】</p> <p>令和13年度のゴール</p> <ul style="list-style-type: none"> ⊙ 地域への関心が高まってきており、時代には合ったコミュニティになっていない。そのため、若い人が意見を出しにくく、 ⊗ チャレンジにくいコミュニティ環境となっている。 |
| <p>具体的にどんなことに取り組むか</p> | <p>令和13年度のゴール：誰もが気軽に挑戦でき、小さな一歩が日常白々に生まれるコミュニティが地域内に定着している状態を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挑戦事例や地域の声見える化し、日常的に共有する仕組みづくり ・気軽に相談できる場と伴走支援体制の整備 ・世代や立場を越えた交流・協働の機会創出 |
| <p>どんな人達の協力が必要か</p> | <p>【市役所の支援のほか、主体的にかかわってもらいたい人・団体や協力してほしい人・団体など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挑戦の主体となる人 ・伴走者、支援する人 ・制度・環境を整える人 ・外部から応援・関わる人 |
| <p>ワクワク・チャレンジポイント</p> | <p>【どんな点が新しいチャレンジやまちのワクワクにつながるか。】</p> <p>地域の声やチャレンジの見える化 → 小さな挑戦 ↑ ↓ 新たな挑戦 ← 挑戦の実績</p> |
| <p>取り組むことによってどんな効果が得られるか</p> | <p>【このアイデアに取り組むことによる効果、田村市にもたらされること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりが強くなる ・挑戦する人が増える ・定住・移住につながる ・地域のイメージが向上する |

3 参加者アンケート結果

第1回

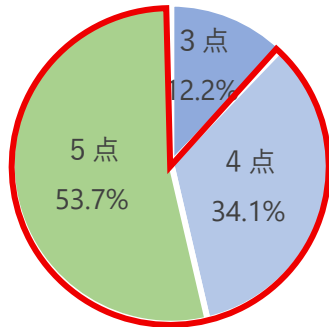
第4回

■ワークショップへの満足度

(1点:全然楽しなかった~5点:とても楽しかった)

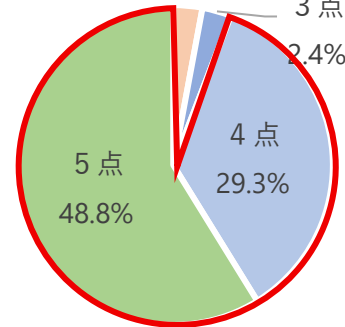
回答: 41件

1点 2点
0.0% 0.0%



回答: 34件

1点 2点 3点
0.0% 2.4% 2.4%

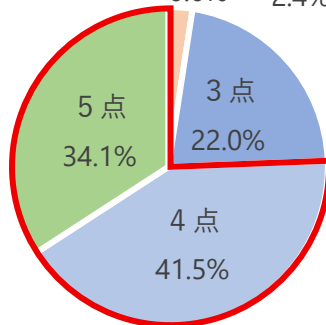


■市への愛着や誇り

(1点:全然感じない~5点:とても感じている)

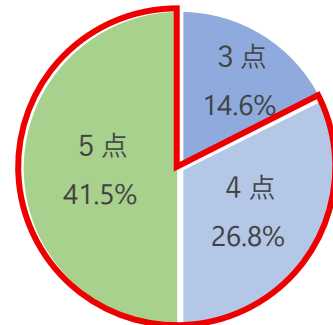
回答: 41件

1点 2点
0.0% 2.4%



回答: 34件

1点 2点
0.0% 0.0%

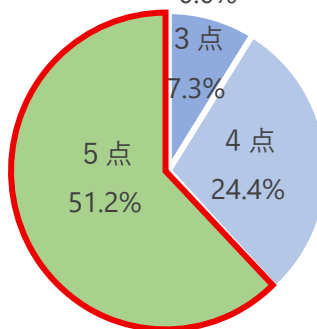


■まちづくりへの参画意向 (第4回のみ)

(1点:関わりたくない~5点:積極的に関わりたい)

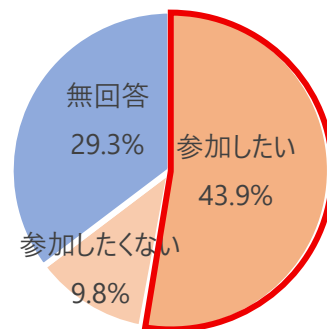
回答: 34件

1点 2点
0.0% 0.0%



■市民会議への参加意向 (第4回のみ)

回答: 34件



■参加した感想（第1回）

| No. | 内容 |
|-----|--|
| 1 | 田村市の発展に対してまじめに考えている人達との意見を対話できてとても意義がありました。 |
| 2 | グループのバランスが良かった、このような取組をどんどん発信してほしい |
| 3 | 多くのポジティブな方々に出会い意見交換ができたのは良かった |
| 4 | さまざま世代の方と交流して田村市の良い所、良くないところについてたくさん知ることができた。有意義な時間を過ごすことができた。次回も楽しみだ |
| 5 | 一般の方の元気があってとても楽しかったです。いざ書いてみると思い浮かばなかったこともたくさんあり、日頃からもっと市のことを見たいと思いました。 |
| 6 | 世代の違う方、生活や仕事と関りない方と地域や暮らしなどについて話す機会はないのでよい時間でした。緊張せずなごやかに話せたので、グループの方々に大変感謝しています。よい時間をありがとうございました。 |
| 7 | 今まで考えたこともなかった内容だったけど、班の人たちがおもしろかったので、めちゃくちゃ楽しかったです！！ |
| 8 | 幅広い年齢層の方の意見や田村市に対する思いを知ることができた。自分の学びにもなり、良い経験だった。 |
| 9 | 自分の意見と地域の方との意見を共有できて良かったです。意見を共有したことで気付きが沢山ありました。課題から「こうすれば良いのではないか。」という考えが沢山浮かびました。 |
| 10 | 普段自分が考えることのない意見を沢山知ることができ、とても良い時間になりました。このような機会には、積極的に参加していくべきだと思いました。 |
| 11 | 世代を超えて話し合いができて、とても新鮮でした。もっと多くの人と交流して多様な意見をきいてみたいと思います。 |
| 12 | 市職員さん達も、もっと参加した方がいいと思う。 |
| 13 | 私は人見知りでうまく話せなかったけどみなさん優しく接してくれて安心しました。最初は不安だったけど話せて良かったです。 |
| 14 | 初めて参加したけど将来について考えるのが楽しくなりました。田村市はこういうイベントを開催してほしいです。 |
| 15 | 自分と違った意見・視点に気づけて良かったと思います |
| 16 | 中高生から高齢世代までさまざまな属性（職種・所属）の人が一緒に話をできて感じる場所（インスピレーション）があった。 |
| 17 | 課題について気に止めておかない内容のために改めて考える時間が持てて良い体験になりました。 |
| 18 | 大人の人たちと田村市のことを考えられて楽しかったし、いつも思っていたことなどを話したり考えられてとても勉強になりました。 |
| 19 | 若い人と話をする事は大切な事で大変ありがたかったです。老人ですみません。 |
| 20 | 話し合いはいろいろ意見があり楽しかった。まちの通信簿を作成するにあたって、総合計画において具体的にやっているというものを提示し、それを評価しないとポイントがしぼれない |
| 21 | 田村市の子育て支援に関する内容が多く、大人の方々の体験などの話を伺い、自分の理解を深めることができた。また次回もぜひ参加して、話し合いを行いたいと思った。 |
| 22 | 参考になりました（都市計画） |
| 23 | 別の年代の方々と意見交換などしたかった。 |
| 24 | 進行役のハシモト氏の話し方が早くて、理解しづらかった |

■参加した感想（第1回）

| No. | 内容 |
|-----|--|
| 25 | Cグループの素直な意見交換の空気感が良かったと思う、様々な気持ち、考えにふれて良い機会でした。 |
| 26 | 中学生の参加、とても意義深かった。中学生や高校生が地域に入ることが今後の田村市の行く末を左右すると感じた。 |
| 27 | 何とかカタチになって良かった！！ |
| 28 | グループの人達と田村市について深く考えることができて楽しかった！ |
| 29 | 田村市の未来を考えてる人が、たくさんいて心強く感じた。それぞれが自分事として考えているように思いました。ワークショップで出た内容をしっかり活かしてほしい。 |
| 30 | 様々な世代が交流できるいい機会だった。 |
| 31 | 幅広い年齢層の方々が集まっているので色々な意見がでて勉強になったし、楽しかったです。 |
| 32 | 様々な年代の多様な意見で気づきが多かった。普段はない機会楽しく活動できた。 |
| 33 | 様々な年代の方々が集まってそれぞれの専門の観点から意見を知れるためよかった。 |
| 34 | 田村市の良い点や課題について意見を深めることができた。 |
| 35 | 色々な世代の人達の意見を聞く事が出来て大変勉強になりました。今後自身の事業に反映させていきたいと思えます。やはりワクワクがとまらない自然とチャレンジがいきる町にしていきたいと思えます。 |
| 36 | 積極的に意見が出たところが良かったです。 |

■参加した感想（第4回）

| No. | 内容 |
|-----|---|
| 1 | いろいろ話ができとても楽しかったです。今回あがったいろいろなことに私も今後もかかわれたらいいなあと思っています。ボランティアのような立場でも何か力になりたいです。たのしい場をありがとうございました。 |
| 2 | 今回のワークショップを通して田村市の現状把握や魅力について発見をすることができた。また、他の班の発表や意見、提案などを聞いて、中学校で学習している社会科の授業の内容と多く結びついていることが多く、学んだことを活用して話し合いや発表を楽しく行うことができうれしく思ったこと。次回も今回のワークショップのような田村市の将来や問題解決に向けての取り組みなどに、自分から進んで参加し、将来の田村市がよりよいものになれるように貢献していきたいと思った。市民会議では、田村市をよりよくするための方針についての話し合い、少子化対策などと連携した取り組みについて話し合いをしていきたいと思った。 |
| 3 | 自分が田村市に感じていることと、他の人が田村市に感じていることに共通点があれば、相違点もあった。また、自分が思っていることに対して相手の意見に共感し、新たな気づきが生まれることが多かった。このワークショップを通して、自分は知らないことが多く、分からないことが初めは多かった。説明を聞いていくうちになんとか理解できることはあったが、自分で調べたり、分からないことは質問したりしないと自分の視野を広げることができないと思う。自分が調べたことを実現できるようにまた、話し合いができると良いとおもいました。 |
| 4 | 様々な人との出会い、考え方を聞く機会は貴重でした。組みあげて市政に活かし市民の参加含め、協議する場を継続して欲しいと思えます。合掌！！ |

■参加した感想（第4回）

| No. | 内容 |
|-----|--|
| 5 | とても楽しく有意義な時間でした。ありがとうございました。要望があります（ここに書く事はわかりませんが…）子供の多子加算について、現在、第2子保育料半額、第3子無料となっておりますが、第1子が小学校以上になると加算されなくなる点について、18才まで加算の対象になれば子供を産みたいと思う方がいます。 |
| 6 | ふだんはひきこもりなので、世代の違う人たちと話せてうれしかった。自分の考えを聞いてもらえるのがありがたかった。田村市が発展していくような希望もてた。（かたちになるのが楽しい）まだまだかわれるチャンスがあると思った。もっとたくさん、深く話したいと思った。 |
| 7 | 楽しかったです。 |
| 8 | 普段話したことのない、こういう場がなければ出会うことがなかったかもしれない人と話ができ、楽しかった。多くの知らなかった地元のことを知る機会になって良かった。 |
| 9 | 世代、分野を超えた交流、対話、その先のチャレンジの萌芽を感じました。市民にも、市長にも、市職員にもその意欲も力もあると思います。協働を進めるには、この4回に終わらずに「市民会議」の設置はぜひ進めたいと思います。「市民会議」は多分野の交流、情報交換、インキュベーションの場。その中で、具体的なチャレンジが芽生えたら分科会で推進展開すればいいのではないのでしょうか。ほとんどの分野で、空き家や廃校を利用した、拠点、場をつくりそこから活動・挑戦が広がる期待が感じられました。つながりの薄さの裏返しでもあると思います。すぐにでもできる第一歩として、熱意のあるうちに市長と Tamura future 参加若手職員との対話の場を設けてはいかがでしょうか。 |
| 10 | 様々な意見に触れることができ良い刺激を得ることができました。今回出されたアイデアの具現化が肝だと思えます。 |
| 11 | 今までお話ししたことのない市民の方とも意見を交わすことができ、とても有意義な時間でした。他の班の発表を聞いていると、自分の班とも連携できそうなことも多く、ワクワクが止まらないまちに近づけそうな感じがしました。教育の分野にはいままであまり関りがなかったのですが、この機会に新たに学べたこともあり、良い機会でした。チームに教育関係者（学校の先生、保育士の方）がいれば尚良かったかなと思います。 |
| 12 | いろいろな世代の人と関わる機会は初めてで、自分が住んでいる地域について考える良い経験ができた。他の人と話すなかで、自分がしらなかったこともたくさん知ることができた。田村市は人口減少や人口の流出など、他の市と同様にこれから大きな課題に直面していくと思うが、それを超えていくためには市だけでなく市民の関心や協力も不可欠だと感じた。今後就活が始まっていくときに今回のワークショップを通じて思ったこと、考えたことは自身の選択の指針になると思う。 |
| 13 | 自分が田村について思っていたことなどを言えてよかった。田村市に必要なことについて話し合ったり、発表できて楽しかった。他の班や自分たちの班で発表し、足りないことなどをこれから行っていけるようにがんばりたいし、今後もこのような会には参加したいと思いました地域の人と意見を言い合えてとても参考になりました |
| 14 | 皆がそれぞれ地域について各々考えており、これからの市生活をより、行政、市民が一体となって良くしていけるという希望ができた。自分では思いつかないようなアイデアを思いつく人がおり、とても新鮮な体験ができた。もしかすると、市内にもっとユニークなアイデアを持っている人がいると思うので、より多くの人と話ができる機会が欲しいとも思った。また、自分の持っている課題意識が漠然としていた所もあるので、「たむら市政だより」などをよく読み、自分の家の周辺から通勤経路などをよく見て、地域の実情をよく把握出来るように日々努め、より強い意見を持ち、市のために役立てたい。 |

■参加した感想（第4回）

| No. | 内容 |
|-----|---|
| 15 | とても楽しく、大変勉強になりました。今の十代、中高生のすごさをわかれてよかったです。昔は「今の若者は」と言われてましたが、今は全く逆で若者に託してそれを年上の方が支援するので充分と思いました。 |
| 16 | 様々な世代や職種の方と話す機会が持ててよかった。このつながりを大事にしていきたいです。 |
| 17 | 色々な世代の方の話が聞けてとても良かった |
| 18 | 関わったことのないような年代、職種の方とお話ができて、自分の学びも深められ田村市についてより知ることができた。未来を見据えて課題を考えアイデアを考える大切さや楽しさを知ることができてよかった。とても楽しく充実した時間にすることができました！ |
| 19 | 世代をまたいで意見交換が出来て良かった。行政にまるなげではなく市民が主体となってまちづくりをしたい。 |
| 20 | 皆様の熱気が感じられてとても良かったと思います。全員の出席された方々の田村市に対して、見つめられている方向性がみえて良かったです。 |
| 21 | 期間が足りない、もっと深く話し合いをしたい。市内の経営者＋行政との議論など |
| 22 | 今回を糧として、より良くブラッシュアップして、セミナー（講話）とは違った意見交換の場として議論を市民の1人1人が学び1人1人の成長と成り得るならば良い事と思います。全員が参加できるカタチ、中々難しいのかも？しれませんが、引き続き頑張ってください。見守っています。 |
| 23 | 参加した方々みんな熱い思いがあり、田村市も捨てたもんじゃないと感じた。新しいアイデアにふれることができ、良い刺激になった。 |
| 24 | 田村市に住んでいるだけでは気づけない課題などを知ることができ、これからも主体的に取り組んでいきたいと感じた。日常では関わる事のできない幅広い年代の方々と関わる事ができた。改めて取り組みを行ったり、まちづくりには官民協力し、市民と主体的に取り組むことが大切だと気付くことができた。 |
| 25 | ワクワクがとまらない自然とチャレンジがいきるまちというキャッチフレーズに共感して移住して来ましたが、とても熱量があるワークに参加出来て良かったです。またワークショップを通じて地域課題を知ることが出来、挑戦が日常から生まれる仕組みの必要性を知りました。今後もそういった街づくりに挑戦していきたいと思います。ありがとうございました。 |
| 26 | グループでの一体感面識性がむずかしかった。全体を通して実施したことを市民にどんどん発信してほしい。実行力を伴う市民会議にしないと会議に参加した人だけの意見でその他の市民の理解が得られないと思う。どんなに良い計画でも市民がついて来れないと意味がないので市民に浸透する会議になることを望みます。 |
| 27 | グループワークにおいてファシリテーターの役割が重要であるので市職員には、その役割をしっかりと認識して進行してほしい |
| 28 | 色々な年代の人達と話を出来た事がすごく貴重な時間になりました。いつも同年代の人との会議が多いので、若い人はこのように感じているが知れて、現実はこのようになっているのかを自分で確認させられました。今回のようなワークショップでの参加で、自分の吸収もアップ出来て自分の活動にも生かせるようになれば良いなと思いました。次回に開催される事になれば参加したいなと思いますので宜しくお願いします。 |
| 29 | 市の課題等についてあらためて考えさせられた。多くの市民がこのような考え発表する場があれば、一人一人が自覚し次の行動なり改善につながると思います。若い世代に田村市の多くの物事にかかわる（考える）機会を工夫してほしい |
| 30 | 他の人と交流したり、意見を出し合っってまとめたりするのがとても楽しかったです。また機会があれば参加したいと思います。本日はありがとうございました。 |

■参加した感想（第4回）

| No. | 内容 |
|-----|---|
| 31 | 違う年代の人と田村市のことについて話すことができ、とても良い時間だったと思います。こういった時間が 増え、田村市の未来を語れる機会をどんどん増やして行ってほしいと感じました。若い世代の興味、関心をも っと引けるように自分にできることを考えられる時間となり、とても楽しかったです。 |
| 32 | 多世代との交流になり、有意義であった。市民参画による様々な意見がこれからの地域づくりに役に立つと考 えられる。特に全体を通して情報が届いていないことが上げられていたため、これからの市の魅力発信の仕方 には注力していかなければならないと感じた。 |
| 33 | ワークショップに対する熱量に個々人の差があり、進行がもたつく場面があった。ジャパン総研さん等の事前 説明で、参加者に”市民主体”を大前提としている旨、伝わるようにしてほしい |

第2次田村市総合計画後期基本計画策定に向けた
Tamura Futureワークショップ実施報告書

発行 令和8年3月
編集 田村市 総務部 企画調整課

〒963-4393 福島県田村市船引町船引字畑添76番地2
TEL：(0247) 61-7615
FAX：(0247) 81-2522
